



か ん ご

れんめい大分

平成20年1月15日発行

第40号

大分県看護連盟メールアドレス
E-mail: oita-kanren@extra.ocn.ne.jp

発行所：大分県看護連盟 大分市寿町2-6 大分県看護研修センター内 TEL 097-537-1335
発行人：安東 和代 編集者：広報委員会 印刷所：(株)インタープリント TEL 097-568-8123



平成19年12月25日
ホームページ開設
大分県看護連盟
ホームページの
トップページより

目次

| | |
|-------------------------|------|
| 新年のご挨拶 | 2~6P |
| 石本茂先生、小林富美栄先生を偲ぶ会 | 7P |
| 清水嘉与子先生 感謝の集い | 8~9P |



新 年 の ご 挨拶



大分県看護連盟 新会長

安東 和代



新年明けましておめでとうございます。

日頃より、看護連盟へご協力、ご支援を頂き感謝申し上げます。

ご案内のように、昨年夏の第21回参議院議員選挙においては、大変残念なことに、看護の代表を国政の場に送ることができませんでした。平成4年から2人の看護の代表を参議院に送り続けてきましたが、その体制が壊れてしまいました。もし次回の参議院議員選挙で代表を送ることができなければ、“3年間国政の場に看護の代表がだれもない”という危機状態になります。

今回は何としても代表を送らねばなりません。そのためには、看護連盟の組織強化と活性化が必須だと思います。組織を強化するためには、一人でも多くの会員が必要です。平成19年度は、看護協会会員の44%、3173名の方が連盟会員になって頂きました。今年度は、50%、3500名を目標に頑張っていきたいと思います。

ご協力をどうぞ、よろしくお願い致します。

昨年11月28日に臨時会長会があり、松原まなみさんが「一身上の都合」で次回の選挙には出ないことを表明された、という報告がありました。次回は即戦力のある活動のできる人、選挙に勝つ人を選ばなければならないという意見があり、適任者の推薦が待たれているところです。

看護職員確保定着の推進と適切な配置、医療安全の確保、在宅医療・終末期医療の充実、予防的観点からの生活習慣病予防対策等課題は山積の状態ですが、会員皆様と一緒に県民・患者さんが、いつでも、どこでも、誰でもが、安全安心で質の高い看護サービスを受けることが出来るために頑張っていきたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



日本看護連盟 会長

見藤 隆子



大分県看護連盟の皆様、明けましておめでとうございます。

昨年11月下旬には、清水嘉与子先生の旭日大綬章叙勲のお祝いと議員引退のご苦労さん会を兼ねて盛大に会が催されました。全国から600名の方がご参集下さり、先生の人徳の現われを印象づける会でした。

国会に目を転ずれば、ねじれ国会で重要法案は通るのか。通らなければ内閣はどうするのか。懸念されることばかりです。解散となりますと、我々の代表である阿部俊子さんはどうなるのか。岡山3区、平沼赳夫さんの居る選挙区での戦いに勝てるのか。前回の得票比率は、平沼10対阿部6でした。阿部候補は中国ブロック比例1位により復活することが出来ました。しかし、二回目ともなる選挙では、比例の上位につけてもらえるのか。連盟会長は、党幹部にお願いに伺っていますが、比例上位という約束が頂けずに居ます。政治は党首に依って流れが変わります。福田総理になってから、平沼さんを自民党に戻そうという勢いが少し落ちたと思いますが、これも何時どうなるか分かりません。

ある党幹部は、個人的意見として、全員惜敗率で行くと言われました。つまり、選挙区で破れた場合、一位の候補に対して何パーセントの票をとったかで比例復活の順位を決めると言うことです。前回の阿部さんの惜敗率は約60パーセントですから、惜敗率となれば、阿部俊子さんは95パーセント以上を取らねばなりません。良い年になりますように。



参議院議員

南野 知恵子



あけましておめでとうございます。

昨年中は数多くの御指導、御鞭撻を給わり無事一年を過ごす事が出来ました。骨折の足もどうにか回復し、永田町を走り回れるようになりました。御心配おかけ致しました。

昨年、清水嘉与子先生の御引退、長年の御指導に感謝すると共に、叙勲の御祝い会で皆様方と喜び合えた事は幸せでした。

今日の永田町における厳しい参議院の状況を一日も早く良好な姿にするため、皆様方のお声を傾聴し、「暮らしに安心、明日に責任」のとれる政策を実行しなければなりません。「福田康夫総裁」のもと、温もりと生きがいを感じる様、「自立と共生」の国づくりに党の一員となって頑張ります。

看護・助産・保健の課題も山積しています。今年、看護教育等の充実、働く環境の整備などの改善に努力したいと思います。「こんにちは赤ちゃん事業」も始まりました。生活習慣病予防対策の成功の鍵は保健師さんが達にあります。副院長を増やし「保助看」レベルアップの年にしたいものです。

衆議院・あべ俊子さん、参議院・南野、1人ずつですが、力を合わせて頑張ります。

「元気出してやるしかない」干支の「子」にちなんで「宙」「忠」「鑄」と走り回ります。看護職で在る事を誇りにして。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。
チュウ チュウ チュウ



衆議院議員

あべ 俊子



大分県看護連盟の皆様、新年おめでとうございます。いつもあべ俊子の国政活動にあたたかいご支援、ご指導を賜りまして、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

昨年一年を振り返ってみますと、夏の参議院選挙では、松原まなみさんの善戦もならず、看護の貴重な一議席を失ったことは大変残念なことでした。

年明け150日以上にわたり開会された通常国会においては、教育再生のための法律や「年金記録問題」に対する社会保険庁の改革法、年金時効撤廃法、さらに公務員制度の改革法など多くの重要法案が成立しました。しかし、第168回（臨時）国会では、安部前総理の突然の辞任から福田康夫新内閣の発足まで、国会は約1ヶ月の空白期間を生じ、衆参の与野党ねじれ現象の中、混沌とした状況が続きました。

私自信は、かねてより取り組んできた臓器移植法改正案や、「尊厳死法制化を考える議員連盟」において、法制化を目指した活動を継続してまいりましたが、多くの課題を抱え、来る通常国会への持越しとなったことは大変残念なことでした。

とにかく現場主義で、直接皆さまと触れあい、さまざまなお声を聞かせていただくこと、さまざまな所へ出向いた一年でもありました。これからもこの姿勢を崩すことなく、多くの看護問題の改善・解決に向けて、現場の皆さま方に「顔の見える議員、活動の見える議員」を目標に全力で取り組んでまいります。

本年も皆さま方からのご指導を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

新 年 の ご 挨拶



前 参 議 院 議 員

清水 嘉与子



明けましておめでとうございます。

昨年7月、18年にわたる参議院議員生活を無事に終了させていただきました。また思いがけず秋の叙勲で旭日大綬章をいただくという榮譽に浴しました。これも皆様の長い間の暖かいご支援の賜物と、心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

ただ、夏の参議院選挙の失敗で、平成4年から続いてきた2人の看護の代表を参議院に送り続けてきた体制が途切れてしまったことが何としても残念でなりません。大分県が総会で永瀬会長から安東会長にさわやかにバトンタッチの様子を拝見し、私にもそんな機会が来ることを望んでいましたのに……。医療保険改革の中で看護の役割が大きくなっているときだけに、何としても看護政策立案の場に代表が必要です。今後看護連盟の活性化に向けた取り組みを各県・各支部で再構築しなければ、参議院に看護の代表を送ることができなくなるかもしれないという危機感さえ持っています。常に先頭に立って活躍しておられる大分県ではありますが、なお一層のお力をお出しただければと願っております。私としても看護連盟政治アカデミーの校長職をお引き受けすることにしましたが、特に若い会員の政治参加意識を高めるためにお役に立てればと考えております。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



大 分 県 看 護 協 会 会 長

古賀 和枝



看護連盟会員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

年末年始もお休みなく勤務について下さった多くの看護職の方々、本当にお疲れ様でした。

今、政界では小泉さん、安倍さん、そして福田さんとバトンタッチされ、解決しなければならないことが山ほど積まれたまま新年を迎えました。看護界では医療制度の改革等が進む中、看護職も自分達の力でどうあるべきかを考えて、体制を整えていかなければならない時代になりました。平成18年の入院基本料の新設で、人数の確保だけでなく質を向上させて結果を出すということをしなくてははいけないと思います。

今年は看護職の離職防止を課題とし、働きやすい職場環境や働く形態についても柔軟に対応していく必要があり、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。「診療報酬改定」「介護保険法の改定」については、日本看護協会では職能団体として看護職者が充実して働ける環境づくりのため頑張っています。

また、医療費削減策として生活習慣病も治療重視から予防重視へ施策の転換が図られ、地域住民への生活習慣病予防活動が始まります。少子高齢化が進む中、生活習慣病予防、介護予防、正常なお産の支援、母子の健やかな営みへの支援、そして施設と地域との切れ目のないケアの提供、今後はこれらのニーズに応えられる能力を持つ看護者の育成が必要です。

今年は新会館建設準備という大きな課題をかかえての新年です。この年が会員の皆さまにとりまして良い年でありますようお願い申し上げます。そして、昨年同様のご指導ご協力をお願い申し上げます。



国東・杵築・日出地区支部 支部長

高橋 多佳子

会員の皆様、あけましておめでとうございます。

まず、昨夏の参議院選では絶大なご支援を頂きましたことを心からお礼を申し上げます。

当支部の到達目標には今一步という所でしたが、それでも前回の得票数より80票余り伸びており確かな手応えを感じました。今回の貴重な得票を無駄にすることのないように次回は更に積み上げていかなければと覚悟をしているところです。それには、まず、土台となる会員を増やすことから始めなければなりません。

今年の干支の子（ねずみ）年にちなんで「ネズミ算」式に会員数が増えてくれるとうれしいのですが…

今から3年先を見据えて、たゆまず、ひるまず、根気強く会員増に向けて努めようと決意を新たにしているところです。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



大分地区支部 支部長

式田 公枝

明けましておめでとうございます。

昨年参議院選挙では、皆様に本当にお世話になりました。

私達の地区支部の役員は、施設代表者や施設連絡員の方々のお力を借りて、精一杯活動したつもりでしたが、残念な結果に終わってしまい、まだまだ力の無さを痛感しています。

今、看護の職場で働く皆さん方は、一見して職場環境が整っているように見えるかもしれませんが、ここまで来るには看護連盟の先輩方大変なご尽力があったからです。しかし、医療の高度化や診療報酬制度の改定などで、今後ますます看護界に求められるものは大きくなってきますし、また、力を十分発揮できるようにもなります。次の選挙では、若い皆様方が気持ちを一つにして、絶対に看護職の代表を国会に送らねば、誰も私達の声を国会に届けてはくれません。私たちが前回の反省に基づき、皆様に理解して頂けるよう努力をしていく覚悟です。

次回参議院選では、みんなで力を合わせて活動し、みんなで喜べるようにしましょう。



別府地区支部 支部長

板屋 文恵

看護連盟、看護協会の皆様にはお健やかに新たな年をお迎えのことと存じます。

看護協会、看護連盟は結成以来半世紀が過ぎた現在も、ひたすらに国民の健康と福祉の向上を目指し、各々が役割を分担しながら協同して活動し問題解決を図っています。最近になり結成当時の「友情、信頼、団結」の誓いが揺れ動いていることを危惧せざるを得ません。

先の参議院議員選挙の結果は、私達看護職が非常に厳しい局面に立たされることになり、加えて次回の選挙は更に厳しい戦いが予測されていることを認識し、看護協会の目的達成に向け引き続き一緒に頑張ってくださいますようお願い致します。



竹田・豊後大野地区支部 支部長

加峰 マチ子

新年あけましておめでとうございます。

地区支部運営も3年を迎え14施設と増え、会員187名個人会員6名で計193名という現状です。

本年も引き続き「活動する支部」を目標として、積極的な取り組みを目指し実践していきたいと思っています。支部組織強化の推進、会員の拡大、研修会の開催、OB会結成、情報の提供等具体的活動を通じ会員理解を深め新会員入会を確実にしたいと思います。また昨年は管内全施設再訪問を行い、地区看護職推進の集い開催やOB会、ミニ研修、個人看護職家庭訪問と飛躍的な支部活動の年となりました。その結果3施設の増加と3名の新会員15名の賛助会員の入会があり、地区支部活動に心強いものを感じ草の根運動の重要性を再認識することができました。

今後も身近な訪問や現場への声かけを大切にし、現場の声が連盟活動に反映できるように努力して参りますので、ご支援ご協力の程よろしくお願い致します。



豊後高田・宇佐・中津地区支部 支部長

高橋 京子

あけましておめでとうございます。新年を迎えても昨年の参院選で精一杯頑張ったのに看護職代表の松原候補を国政の場に送り出し得なかったことが脳裏から離れません。「数は力なり」と痛感して、今年の課題は、組織拡大・会員増としました。

県北に位置する当支部は3市からなり会員数は190名、民間中小施設が殆どで県内では連盟組織率ワースト2に甘んじています。しかし世帯が小さいだけに、まとまりよく効率的な活動が来ていると自負しています。

3ブロックから幹事一名ずつ選出していますが業務多忙で役員会は毎会勤務終了後です。施設連絡員の協力を得ながらリーダー役を荷って来ます。いつの日か、「看護協会会員即連盟会員」の実現を希い続けながら…。



玖珠・日田地区支部 支部長

古賀 ゆかり

あけましておめでとうございます。当支部は、会員数173人です。自分達が所属している組織を正しく理解してもらい大きな力に変えるために、『看護協会の目標を達成するための組織が看護連盟である』ことを伝えてきました。約9割が当院の看護師ということもあり“看護部会”の時間を、また、玖珠・日田地区の役員の方々毎月出席される“看護のつどい役員会”で時間を頂き、看護連盟からの情報を伝えています。一人ひとりの行動に繋げるためには正しく、そして繰り返し伝えていくことが必要であると痛感しています。自分達の組織は自分たちが動かなければ何も変わりません。今年もコツコツと地道に活動していきたいと思います。ご理解とご協力をよろしく願います。



臼津・佐伯地区支部 支部長

高野 洋美

新年おめでとうございます。

リフォーム連盟となって4年目となりました。月々の「連盟通信から、機関紙アンフィニ」と更新、内容も充実し紙面もカラフルで、もう一度見たいときも楽しく又新たな発見もあります。是非皆様、目を通して下さい。第21回参議院選では、16万7595票獲得しながらも結果は、実りませんでした。

公示日以降の期日前投票等無理のない投票の案内を地区幹事の方とすすめて来ました。

まず、自分から研修会に出席し、新しい情報を確認しつつ今後も納得のゆく投票を共にしていきましょう。

臼津・佐伯地区支部では4つの病院施設で協会会員の約98%が連盟会員となっています。各施設で地区幹事の方々活動して下さっています。お互いに情報交換し、高めあって、現場の問題の向上につなげていけたらよいですね、皆様の日々のご活躍を祈っています。



由布地区支部 支部長

立川 タヨ子

あけましておめでとうございます。

7月29日選挙は終了しました。

これまでは、看護職の団結力を発揮し、看護協会が推薦した候補者は殆ど当選してきました。小泉さんは、上り坂、下り坂、と「まさか」と言う坂がある、と言われましたが、まさか落選はないだろうと思っていたのに何とも残念です。今後は、我々の団体がどのように評価されるだろうか。「何だ看護職は100万人も働いているというのに、1名も当選させられないではないか、たいした団体ではない」と思われると、これからの看護関係の要求は、通りにくくなるだろう、二度とこういうことがあってはならないと深く反省しております。

石本茂先生、小林富美栄先生を偲ぶ会

平成19年10月10日に石本茂先生、8月8日には小林富美栄先生が旅立たれました。看護会に大きな足跡を残されたお二人を偲ぶ会が開催されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

12月10日安東会長以下5名で石本先生、小林先生を偲ぶ会へ出席させていただきました。真っ白の胡蝶蘭とカサブランカに囲まれた祭壇に少し若かりし頃のお2人の遺影がライトアップされ、しめやかに催されました。石本先生は昭和40年参議院議員に当選以来、平成元年の引退迄4期24年もの間看護職の代表として活躍されました。

お人柄と手腕により二度の厚生政務次官を、59年には日本で三人目の女性大臣として環境庁長官になられました。環境庁こそ自分に適した場所、看護職でなければ出来ない仕事をやり抜くという決意でご活躍なさったそうです。

小林先生は、看護教育、地域看護の基礎を構築し、在宅看護、大学教育化の推進に尽力されました。教育の為には指導者が必要と研修会館を設立、初代校長に就任。

「先生が看護の基礎を作って下さって今の看護がある。この会は感謝の会」と南野先生はおっしゃっていました。在りし日のビデオが放映され、有田先生の献杯で懇親会に移りひと時の懇談の後偲ぶ会を閉じました。

幹事 畔津孝子



●石本茂先生の主な足跡●

- 1913年(T2) 石川県小松市で誕生
- 1933年(S8) 富山赤十字病院救護看護婦養成所卒業
- 1937年(S12) 従軍看護婦として病院船勤務
- 1950年(S25) 厚生省医務局国立病院課勤務(看護課併任)
- 1962年(S37) 国立がんセンター初代総婦長、日本看護協会看護婦会会長・日本看護連盟顧問併任
- 1965年(S40) 第7回参議院選当選(1回目)
- 1969年(S44) 第7代日本看護協会会長
- 1970年(S45) 看護制度改悪を阻止する為に、自民党入党を要請される
- 1971年(S46) 第9回参議院選当選(2回目)
- 1973年(S48) 夜間看護手当1回350円→1,000円に。厚生政務次官に就任
- 1975年(S50) 「女子教員、看護婦、保育の育児休業法」成立
- 1976年(S51) 再度、厚生政務次官に就任
- 1977年(S52) 第11回参議院選当選(3回目)
- 1983年(S58) 第13回参議院選、比例代表制導入名簿13位で当選(4回目)
- 1984年(S59) 国務大臣・環境庁長官就任(女性大臣3人目)
- 1986年(S61) 勲一等瑞宝章受章
- 1989年(H元) 24年間の参議院議員を引退
- 2001年(H13) 第38回フローレンス・ナイチンゲール記章受章
- 2007年(H19) 10月10日、ご逝去(94歳)

●小林富美栄先生の主な足跡●

- 1921年(T10) 福井県で誕生
- 1941年(S16) 聖路加女子専門学校(看護大学の前身)卒業
- 1947年(S22) 厚生省公衆保健局保険課に厚生技官として就任
- 1953年(S28) アメリカ留学にて公衆衛生看護教育を専攻し、訪問看護に関心を持つ
- 1962年(S37) 2度目のアメリカ留学、「看護管理講座」共著
- 1965年(S40) 東京女子医科大学進学過程開設準備、看護学校主事
- 1969年(S44) 東京女子医科大学看護短期大学教授
- 1971年(S46) 第6代日本看護協会会長、第1回「看護白書」を発行
- 1972年(S47) 日本看護協会看護研修学校長就任「人間関係の看護論」共訳
- 1975年(S50) I C N東京大会国内組織委員長、「看護研究の手引き」共訳
- 1977年(S52) I C N東京大会開催。海外78カ国4,020名国内8,000名参加「I C Nの歴史」翻訳ほか、日本人看護職が国際的視野を持つ契機となる。
- 1981年(S56) 千葉大学看護学部教授退任後も「現代看護の探求者たち」共著ほか多数
- 2007年(H19) 8月ご逝去(86歳)

御礼のことば

このたびは「故・石本茂先生・小林富美栄先生を偲ぶ会」にご出席を賜り、誠にありがとうございました。

看護会に大きな足跡を残されました石本茂先生ならびに小林富美栄先生を慕う多くの方々のご参加を頂き、おかげさまで無事に会を終えることができました。

これもひとえに皆様方のご協力の賜物と感謝申し上げますとともに、お二人が看護会に残されましたご功績の偉大さに、思いを新たにしました次第であります。

今夕の会が、お二人の真向かいに看護に取り組まれたお姿を思い出すとともに、お二人の看護への思いが皆様にも伝わればこれに勝る喜びはございません。

本日のご参加に重ねて御礼を申し上げますとともに、皆様方のますますのご健勝を祈念いたしております。

平成十九年十二月十日

「故 石本茂先生・

小林富美栄先生を偲ぶ会」

発起人代表

日本看護協会 会長 久常節子

日本看護連盟 会長 見藤隆子

清水嘉与子先生 感謝の集い

～ 旭日大綬章受章を祝う会～ に参加して

清水先生、長年に亘り私たち看護職のためにご尽力をいただきましてありがとうございます。そして旭日大綬章のご受章おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

平成19年11月28日、看護協会・看護連盟主催でホテルオークラ東京「平安の間」にて開催された。全国から700余名の方が先生に感謝と受章の喜びを申し上げた。

正面舞台には秋の叙勲で女性としての最高位の旭日大綬章の勲章と賞状、そしてコパルトブルーのドレスが飾られていた。最初に思い出のアルバムより先生の生い立ちから議員活動等のスライドが大スクリーンいっぱい映し出された。先生の可愛らしい子ども時代や懐かしい数々の場面を拝見する事ができた。先生は昭和33年看護職としてスタート、石本先生とバトンタッチで平成元年第15回参議院当選、平成11年には環境庁長官に就任、19年7月任期満了で退任。3期18年間「看護・医療・福祉・環境問題」等に幅広く取組まれ、国内外でご活躍された。

盛大な拍手で先生をお迎えした。久常協会長、見藤連盟会長のご挨拶、森元首相を初め来賓の方々のご祝辞があった。作家の中島みち様のお祝いメッセージも寄せられた。元看護協会長南裕子様他からの祝電披露があった。花束・記念品贈呈の後、先生が感謝とお礼の言葉を述べられた。写楽連の方々によるみごとな阿波踊りで会場が一層盛り上がった。参加者同士のコミュニケーションも大いにとれて和やかな歓談の2時間であった。最後に古橋看護協会副会長より閉会のご挨拶があった。

先生の凛としたお姿の中にも慈愛溢れる優しい眼差しが印象的であった。

「地球をまもる、生命をまもる」清水嘉与子先生これからも宜しくお願い致します。

監事 板倉公子

清水 嘉与子先生 感謝の集い ～ 旭日大綬章 受章を祝う会～



旭日大綬章の勲章と賞状



花束贈呈



森元総理の祝辞

| | | | |
|------------|--------------------------|------------|---|
| 1989年(H元) | 第15回参議院選当選／党社会部会看護問題小委員長 | 2001年(H13) | (参)環境委員会理事／第19回参議院選当選 |
| 1992年(H4) | 労働政務次官就任 | 2002年(H14) | 党地球環境特別委員長／党参議院環境部会長 |
| 1993年(H6) | (参)厚生委員会・国民生活調査会理事 | 2003年(H15) | 党総務会副会長／党九州地方開発委員会委員長 |
| 1995年(H7) | 第17回参議院選当選 | 2004年(H16) | (参)北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員長 (参)少子高齢社会に関する調査会長に就任 |
| 1996年(H8) | (参)文教委員長就任 | 2005年(H17) | 党高齢者特別委員長／党環境調査会・地球環境委員長 |
| 1999年(H11) | 国務大臣 環境庁長官就任 | 2007年(H19) | 18年間の任期を終え引退 |
| 2000年(H12) | 環境庁長官再任 | | |



清水 嘉与子

謹啓 初冬の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
 さて、私こと
 この度の秋の叙勲に際しまして 図らずもその榮譽に浴しましたところ 早速にご丁寧なご祝意を頂戴し まことにありがとうございます
 十一月六日には皇居に参内して 天皇陛下より旭日大綬章を親授賜り 感激も一入でございました
 参議院議員として懸命に十八年を務めて参りましたが これもひとえに 皆様方の暖かいご支援ご指導によるものと感謝申し上げます
 今後ともよろしくご厚誼のほど お願い申し上げます
 末筆ながら皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます まずは書中をもって御礼のご挨拶とさせていただきます。
 敬 具
 平成十九年十二月吉日



南野参議員の祝辞



見藤連盟会長と



写楽連による阿波踊り



清水先生を囲んで



写楽連による阿波踊り

平成19年度 会員研修Ⅲ「看護管理者研修会」

～選ばれる職場づくりを受講して～

大分大学医学部附属病院 渡邊 佳子

今回の講演の中で、「社会のしくみを知ること、管理者の意識が大切である。」と講演の冒頭に話された言葉にとっても衝撃を受けました。

現在、私は大学病院の副師長として仕事をしています。当病院でも、今年度から7：1看護体制となりました。当初は、看護師の数が増えれば、日々の業務が楽になっていくと安易に考えていました。しかし、実際は、新たに加わるスタッフへの教育・離職に振り回され、疲労がつのる毎日となっています。そんな思いを抱えている中で、今回の講義を受講することができ、自分の意識を改める機会を得ることができました。病院の体制や周囲の環境に不満をもつだけでは何も変わらないことを改めて感じました。副師長の立場ではなにも出来ないと思っていましたが、何が問題で何を変えなければならないのか、自分ではまったくわかっていないから、行動することができていないことに気づくことができました。まずは、自分の意識を変え、社会のしくみについて勉強していくことから始めたいと思います。先生のパワーある話に大いに励まされ、活力が湧いてきました。また、看護体制の変革をしていくためには、政治に看護職を送り込めるように連盟の活動にも興味を持ちたいと思います。

平成19年度 会員研修Ⅲ 「看護管理者研修会」



【日時】平成19年12月14日(金) 10:00～12:00
【会場】大分県看護研修センター(3F)大ホール

☆112名参加

講演「選ばれる職場づくり」

(講師) 神戸大学医学部附属病院 副院長、看護部長
日本看護連盟 幹事 大島敏子先生

研修会のお知らせ

| 研修会 | 予定日 | 会場 | 講師及び内容 |
|----------------|---------------------------------|--------------------------|---|
| 看護協会・看護連盟合同研修会 | 平成20年 3月8日(土) 10:00～12:00 | 大分県 看護研修センター 3Fホール | 古橋 美智子 日本看護協会副会長 保健師、助産師、看護師法の 改正の概要と影響(課題) |

入会のご案内

平成20年度 会員募集!!

ベッドサイドからの声を国会へ。
あなたの入会をお待ちしています。

平成20年度
会員目標

3,500名

会費

| | |
|--------|--------|
| 本部会費 | 5,000円 |
| 県会費 | 2,500円 |
| 計 | 7,500円 |
| 賛助会員会費 | 1,000円 |



入会の問い合わせ先

大分県看護連盟事務局

TEL: 097-537-1335
FAX: 097-538-8051

いつもありがとうございます。

羽毛布団の東洋羽毛です。



クリーニング・リフォーム・下取などの
アフターサービスを行っております。
お問合せはお気軽に下記フリーダイヤルまで!

お問合せはお気軽に!

TUK 東洋羽毛

【熊本店】熊本市尾上1丁目7番3号

フリーダイヤル **0120-382808**

編集後記

子年のはじまりです。
えとのはじまりで何となく縁起の良い気がします。昨年の選挙は残念な結果となりましたが、今年は嬉しい気がします。
役員一同どうしたら連盟活動が会員の皆様に十分に伝わるかを考えながら編集しました。どうか隅々まで読んでいただきたいです。そしてご意見をお寄せ下されば更に有難いと思います。

(広報委員一同)